

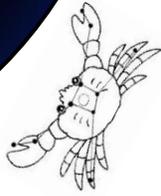
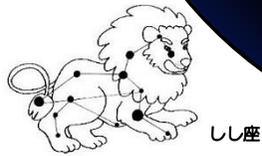
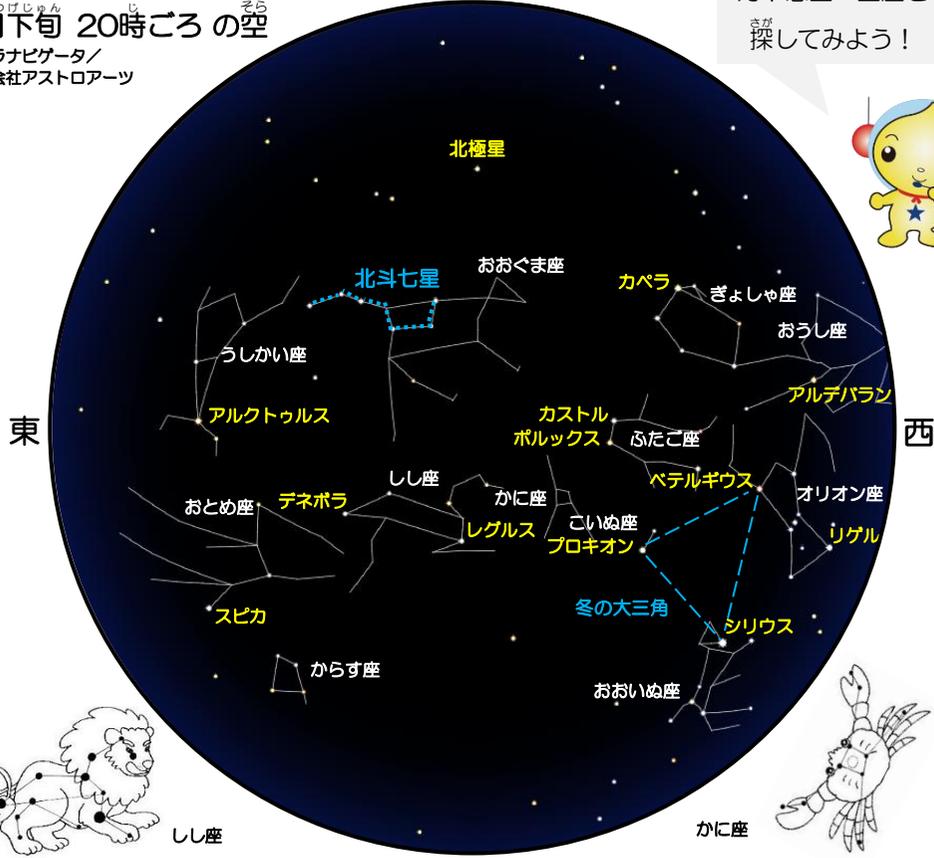
月刊 星空の散歩道 4月号

2024年

4月上旬 21時ごろ
4月下旬 20時ごろの空
ステラナビゲータ/
株式会社アストローツ

北

月や惑星・星座を
探してみよう！



4月の星空

☆宵空の主な星座と明るい星☆

西の空に冬の星座、東の空に春の星座が見える。

- < 西 > おおぐま座 (アルデバラン)、ぎょしゃ座 (カペラ)
ふたご座 (カストル、ポルックス)、オリオン座 (ベテルギウス、リゲル)
おおいぬ座 (シリウス)、こいぬ座 (プロキオン)
- < 天頂 > しし座 (レグルス、デネボラ)
- < 東 > うしかい座 (アルクトゥルス)、おとめ座 (スピカ)
- < 北 > 北極星、おおぐま座

☆天文トピック☆

3~4月 ポン・ブルックス彗星

日没後の西の空低いところでポン・ブルックス彗星が見ごろを迎えています。明るさは5等星くらいですので、肉眼での観察は難しいですが、双眼鏡を使って見てみましょう。

4月18日 月とレグルスが並び

月としし座の1等星・レグルスが近づいて見えます。2等星のデネボラも一緒に探してみましよう。

☆月の形の変化☆

- 4月 2日 下弦
- 4月 9日 新月
- 4月 16日 上弦
- 4月 24日 満月

☆4月の惑星☆

水星…日没後、西の空低く (上旬)
木星…日没後、西の空低く

<天文コラム>動きが大きいアルクトゥルス

夜空の星座を形作る星々は、地球から見たみかけの位置が変わらないように見えます。このことから、「変わらないもの」という意味の漢字「恒」を使って「恒星」と呼ばれています。しかし、本当はどの星もそれぞれ個別に動いています。星々間の距離があまりにも遠いため、みかけの動きが小さくなり、変わらないように見えるのです。

ところが、春の星座のうしかい座の1等星アルクトゥルスは地球から見た速度が特別に速いことが知られています。そのため800年で月の視直径1個分ほど、おとめ座の方向に向けて動くこととなります。おとめ座の1等星スピカとともに「春の夫婦星」と紹介されることがありますが、今から5万年後には、図のようにおとめ座の領域内に移動し、スピカのすぐ隣でまさに夫婦のように並んで輝くこととなります。

